



株式会社アパンス  
川崎雅幸氏



業界最大スケールとなる25面巨大モニター。大迫力の映像が映し出される

店舗データ

企業名 / 株式会社アパンス  
店名 / FREEDOM  
所在地 / 大阪府大阪市北区国分寺2-1-7  
総台数 / 864台 (パチンコ504台、パチスロ360台)  
構造 / 1フロア



ハイビジョンマルチビューワ『HMV20』は1920×1080i(HDTV)のフルスペックハイビジョン信号で監視カメラ映像を表示。インターレース/プログレッシブで動画の表現にも優れる(写真左)。イベントレコーダは好アングルの映像を漏れなく残す(右)。操作方式はタッチパネルを採用。カメラ切替から制御、映像検索まですべてが指一本で行える。

取材最中のこと。年配の遊技客から「数千円分の(玉貸し度数を残す)カードを紛失した」との訴えがあり、スタッフが録画映像の照会を求めるところに遭遇した。事件性はなくカードも遊技客の手に戻ったが、同システムを使ったスタッフらの対応は極めて確実、迅速なものであった。

「映像検索のほとんどは(事件性の無い)このようなケースですが、お客様にとって不安は相当なものでしょう。不正の抑止、摘発のために導入しているシステムですが、もう一歩踏み込んで、顧客サービス面でも大いに活用し

たろうか。従来の遊技台監視は、自動追尾カメラによるものであったが、遊技台単位の録画データとなると、必ずしも的確、十分なものとはいえなかった。

遊技機全台録画は、各遊技台または台間ごとに小型カメラを配し、ベストポジションから遊技機周辺を常時録画する。つまりあらかじめクロスアツプした状態で24時間録画を行い、肝心な映像を漏れなく残す。

さらに特筆すべきは、こうして集まる膨大な映像データをイベントレコーディングシステムによって管理、制御する点だ。遊技台別、時間帯別の検索をはじめ、各種センサーやホールコンなど、最大255種類の接点信号を利用する映像分類は、「台枠開放」「特賞不正」などといった指定から目的映像を抽出し、とかく時間と労を要した検索作業を圧倒的に簡易化している。

こうした新しい試み、取り組みによってサービス、安全の両面から店舗を盛り上げる「FREEDOM」。今回取材を行ったのは平日、しかも昼下がりという時間帯にもかかわらず、店内は8割近い稼働を誇っていた。

この高稼働は、地の利などによる単純なものではなく、独自のコンセプトによる営業と安全・信頼の高さに対する顧客からの正当な評価と言えるのではないだろうか。

ていきたいです」(川崎氏)

また、同店がホール内の演出に業界初の25面マルチモニターを導入していることは先述したが、バックヤードのモニターでも眼を見張る業界初を目的にすることができている。旧来のカメラ映像に慣れた者であれば即座に気づくに違いない。

2枚の50インチプラズマに映し出されている監視カメラ映像は、フルスペックハイビジョン信号によるものなのである。もちろんこれは、店内演出とは直接関係しない。裏方の極めて実務的な用途で導入されているものだ。おそらくここまでの高画質を必要とする業界は他に無く、これはホールセキユリティに特化してきたITA社だからこそその製品化であるといえるだろう。

「以前のものと比べると(画質が)格段に違います。不正を働こうとする人物はやはり挙動におかしなところがあるものですから、画質向上は価値あることだと思います。ブース周りもすっきりしました」(同)



I.T.A.ビデオ・サービス株式会社

大阪本社 072-229-0555 東京支社 03-5472-8888 中部支社 052-701-1710  
九州支社 096-368-4119 札幌営業所 011-787-2230 仙台営業所 022-246-9110  
金沢営業所 076-292-2250 広島営業所 082-264-2424 四国営業所 0877-98-4906



遊技台単位の録画に比べ、計数機、景品カウンターなども個別録画。自動追尾カメラがコースを縫い、駐車場には車番認証が控える。今回FREEDAMでは、ワイヤレス通信システム、プロサウンドシステムなど多くの設備をITAビデオサービスが担当した。

## ITA Security System Introduce Report

# 遊技機全台録画時代の夜明け



株式会社アバンスが運営する大阪市北区の「FREEDAM」。昨年末リニューアルオープンを果たした同店では、改装前を含め系列店においても、ITAビデオ・サービスの手掛けるセキュリティシステムを採用している。中でも今回の目玉は、ITA社が企業としてのライフワークに位置づける「遊技機全台録画対応イベントレコーディングシステム」と、監視カメラ映像に画質革命をもたらした「ハイビジョンマルチビューワ」だ。ホールセキュリティの先駆企業が新たに仕掛けたシステムにスポットを当てた。

学問の神様「天満の天神さん」として親しまれている大阪天満宮。そのお膝元である天神橋筋商店街を北端まで抜けると、株式会社アバンスが運営する「FREEDOM」が堂々たるたたずまいを見せる。

店舗近隣は古くから遊技人口も多く、地域に根付いた中小競合店のほか、近年は大手チェーンの進出もあり、激戦区の様相を呈している。同店は「天6 ARROW」「TUONO」として長く地元で愛されてきたホールだが、昨年12月8日に統合リニューアルオープンを果たし、近隣でも有数の大型店舗へと生まれ変わった。

店内は全体をアンダーな照明で統一。DJ・VJブース完備に加え、ひときわ眼を引くのは業界最大スケールの25面巨大マルチモニターだ。「広くスタッフからアイデアを募り、CLUBの雰囲気ホールに再現する」というコンセプトを打ち出すに至りました」と語るのは同店でチーフを務める川崎雅幸氏。独自のホールづくりが早くも話題の同店のだが、セキュリティにおいても他店とは一線を画す。

「パチンコ504台、パチスロ360台、設置総数864台を完全録画しています」(川崎氏)

これを手掛けたのは、ITAビデオサービスである。

「遊技者の手もとや人相をクローズアップしたいが、録画映像であるためそれができない」そのような経験は無い